

36 ゲノム配列を核としたヤポネシア人の起源と成立の解明

<http://yaponesian.org/>

領域略称名： ヤポネシアゲノム
領域番号： 8004
設定期間： 平成30年度～平成34年度
領域代表者： 斎藤 成也
所属機関： 国立遺伝学研究所集団遺伝研究系

ヤポネシア（日本列島）に居住するヤポネシア人（日本列島人）はどのような集団にその起源をもつのか、ヤポネシアにおける成立・発展の過程はどうであったのか。本研究領域の計画研究 A01、A02、A03 では、多地域から選別した現代人数百個体と旧石器時代～歴史時代の古代人 100 名のゲノム配列を決定し比較解析することで、ヤポネシア人ゲノム史の解明を目指すほか、ヒトとともにヤポネシアに移ってきた動植物やヤポネシア人と関わってきた動植物についても、それらのゲノム配列の比較からヤポネシア人の起源と成立を解明する。計画研究 B01、B02、B03 では、年代測定を取り入れた考古学研究や、日本語・琉球語の方言解析を含む言語学研究、さらに過去の人口増減の詳細な歴史を推定する研究などを、ゲノム関連の計画研究 A01～A03 と共同で推進する。これら一連の生物学系と人文社会学系の研究を総合した、異分野融合の新たな研究領域を確立する。計画研究について詳しくはホームページを御覧いただきたい。

公募研究においては、計画研究にこだわることなく、新しい異分野融合研究の提案を歓迎する。現代人、古代人、あるいは動植物のゲノム決定、ゲノムでなくても大規模なデータ収集活動を含む公募研究は費用がかかるので、応募上限額を 400 万円としたが、何らかの異分野融合が含まれる申請内容が望ましい。ゲノム配列決定などの多額な費用を必要としない公募研究の場合には、応募上限額を 200 万円とした。計画研究がカバーしていない古代史を中心とした歴史学、民族学・民俗学、あるいは AI を利用した文化的ビッグデータの解析などの、意欲的な研究テーマの申請を歓迎する。

研究項目	応募上限額（単年度）	採択目安件数
A04 ゲノム配列解析などを用いたヤポネシア人の起源と成立の解明	400 万円	10 件
B04 異分野融合をめざしたヤポネシア人の起源と成立の解明	200 万円	10 件